

実践遠隔授業（授業づくりと模擬授業）



オンライン授業

【ねらい】

遠隔授業の特性を知り、児童生徒の学習環境や学習効果を考慮したオンライン授業が設計できるようになる

【ポイント】

- ① 遠隔授業を知る
- ② 遠隔授業を設計する

【活動】 実際に遠隔授業を実践してみましよう



遠隔授業の必要性

5. 学習指導等

(1) 学習指導

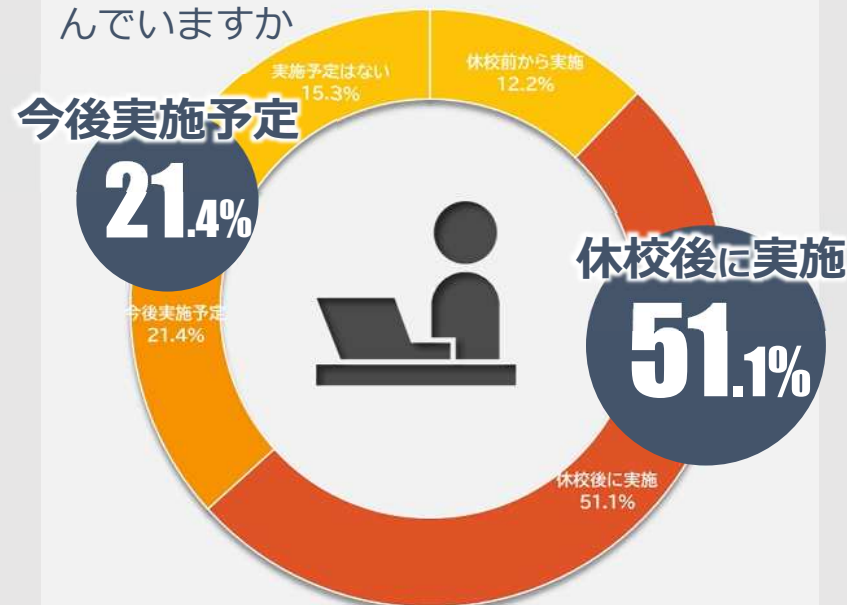
・ICTの活用

児童生徒に家庭学習を課す際
や学習状況の把握を行う際には
ICTを最大限活用して
**遠隔で対応することが極めて
効果的である**ことを踏まえ、
…(以下省略)

引用：新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のための
ガイドライン（令和2年6月5日文科科学省通知）～抜粋～

教員対象アンケート

休校に伴い、学習のオンライン化に取り組んでいますか



出典：株式会社旺文社【高校教員の学習・進路対応調査】

**学習のオンライン化対応
を急速に進めている**



同期型

同時双方向型の授業

Web会議アプリを利用

- Google Meet ※1
- Zoom ※2
- Microsoft Teams など

リアルタイムに双方向のやり取り
コミュニケーションをとりながら
進める**同期型オンライン授業**

双方向ライブ型授業

比較

非同期型

一方向型の授業

録画配信型

録画された授業動画を視聴
クラウド上で質問や課題の提出

課題配信型

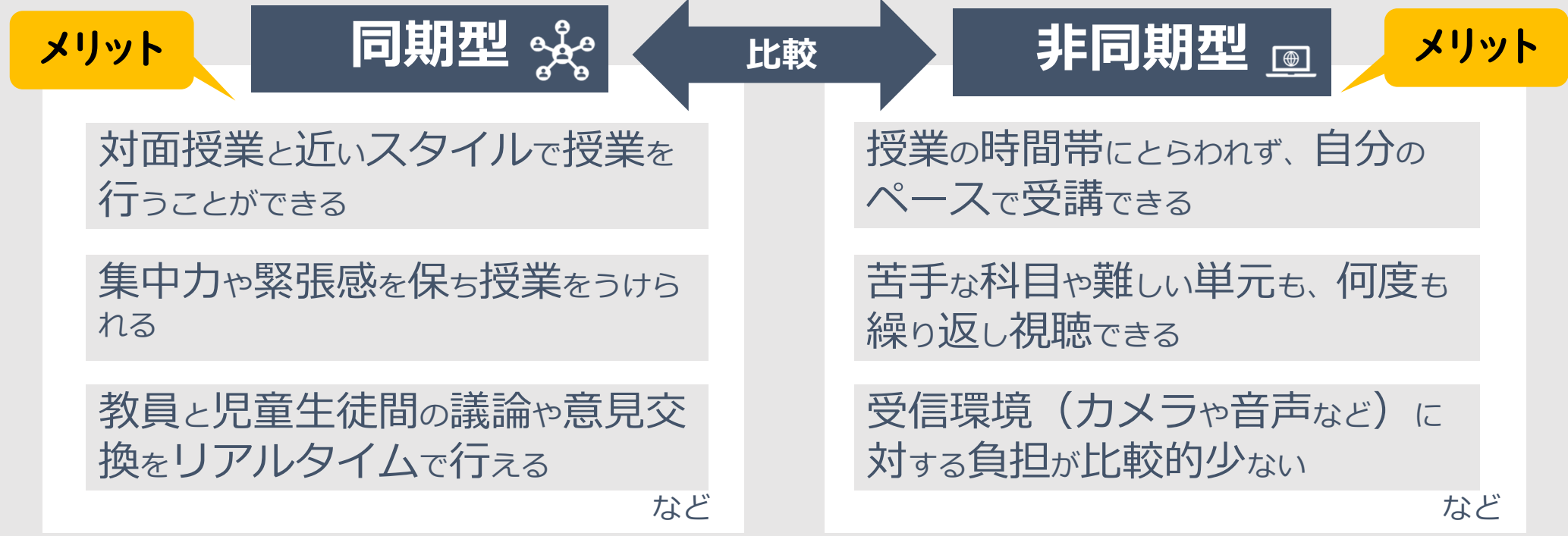
解説付きの課題を受け取り
クラウド上で質問や課題の提出

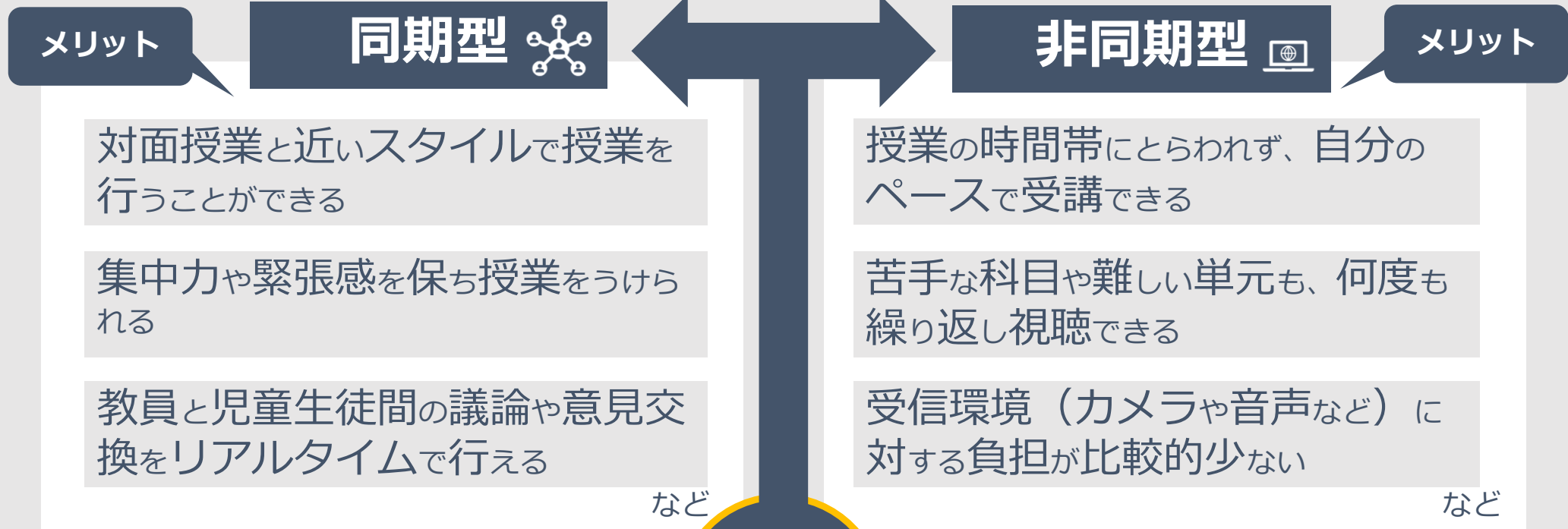
自学自習型

教材を用いて自習、演習を行う
クラウド上で質問や課題の提出

オンデマンド型授業

※1 教育の情報化ユニット研修<GIGA端末導入機編> 「unit18 Meetで授業配信」参照
※2 教育の情報化ユニット研修<GIGA端末導入機編> 「unit17 Zoomで授業配信」参照





ハイブリッド型授業 **融合** ハイフレックス型授業

異なる授業形態 (同期型・非同期型) を授業の目的や学習効果を考慮して実施



「同時配信」「対面授業」さらに「オンデマンド」の3つのパターンで実施



新しい「学びの形態」を創造 各学校の実態に応じた計画と実行



通常の教室の黒板（ホワイトボード）を利用

※Web会議システムの画面共有機能を使う場合もある

Webカメラ

画像と音を配信
黒板と教師が撮影できるように調整

Web会議用システム

Google Meet

Zoom

Microsoft Teams など

配信用パソコン

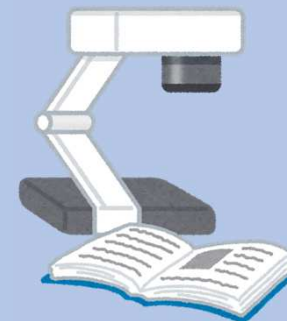
配信画面を確認し
位置を調整する

必要であれば

三脚



スピーカーマイク



実物投影機

遠隔授業
の工夫



ヘッドセット



自宅での視聴のルール作りが大切



ヘッドセットの
利用も想定でき
ます

Web会議用システム

活用法を学校で
事前に確認して
おく

GIGA端末

Wi-Fi環境など
を使って、イン
ターネットに接
続できる端末

教材

筆記具
事前配布プリントや
教科別のノート など

Classroomを
利用し情報共有

※VDT (Visual Display Terminals) 症候群
などの心身の疲労予防を意識する

遠隔授業の約束事

1

オンライン朝礼など
ではカメラはできる
だけオン

2

マイクは、
話す人は「オン」、
聞いている人は
「オフ(ミュート)」

3

リアクションは大きく

4

話し終わるときは「以上
です」次は〇〇さん、
お願いします

など

遠隔授業
の工夫

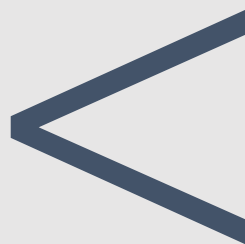


★授業設計上の大切な視点



★主体的・対話的で深い学びを意識した設計

教師が主体
インプット



児童生徒が主体
アウトプット

「知識伝達型」から「自己探究型」へ



★主体的・対話的で深い学びを意識した設計

例

■授業内容■ ～主な活動のみ抜粋～

児童生徒は課題を各自で把握、個人の意見を整理、課題解決に必要な個人の体験などをクラス全体で共有。

グループに分かれ課題解決に向けた情報の整理。

グループの解決に向けた意見や考え方をクラウド上で共有されているファイルに入力、グループで発表。










その発表の評価と授業の振り返りを個人で入力。



★主体的・対話的で深い学びを意識した設計

例



- ① Classroomとスライドを利用  
- ② Classroomとビデオ会議アプリを利用  
- ③ ストリームで意見交流、共有用の発表スライド作成  
- ④ 発表、相互評価を入力  
- ⑤ 振り返り 





遠隔授業

